

# しおがま市議会だより

## 令和4年 9月定例会号

- 議案審議の概要 常任委員長報告 P2
- 令和3年度決算審査 P3
- 討論 P4
- 市政に対する一般質問 P5~9
- 議案等賛否一覧表など P10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Nov.2022 (令和4年11月)  
 ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>



【塩竈市議会ホームページ】  
 市議会の情報は市議会HPで  
 ご覧になれます。



市の補助金を活用して開催された、しおがま元気UP2DAYS  
 (9月17日・18日 マリンゲート塩釜)

### 定例会のあらまし

令和4年9月定例会は、9月9日から29日までの21日間の会期で開催しました。

本会議初日は、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑の後、令和3年度決算については決算特別委員会に、その他の議案については、所管の常任委員会へ付託しました。また、人事案件1件を審議の上、同意しました。各常任委員会は3日間、決算特別委員会は4日間開催し、付託した議案及び決算の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

最終日は、各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、議案1件を継続審査、その他議案8件を可決しました。また、決算特別委員会委員長から審査結果の報告を受け、決算及び関連議案4件を可決及び認定した後、市長より追加提出議案1件の説明を受け、即日審議の上可決しました。特別委員会設置の動議1件は即日審議の上否決とし、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

### 定例会会議日程

本会議

9月9日 会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件審議及び採決

委員会

- 9月13日 令和3年度決算特別委員会
- 9月14日 総務教育常任委員会
- 9月15日 民生常任委員会
- 9月16日 産業建設常任委員会
- 9月20日 令和3年度決算特別委員会
- 9月21日 令和3年度決算特別委員会
- 9月22日 令和3年度決算特別委員会

本会議

- 9月26日 市政に対する一般質問
- 9月27日 市政に対する一般質問

委員会

9月28日 議会運営委員会

本会議

9月29日 各常任委員会委員長報告、議案審議及び採決、令和3年度決算特別委員会委員長報告、議案審議、討論及び採決、追加議案説明、議案審議及び採決、特別委員会設置の動議

**8億2420万円の  
増額補正予算を可決**

9月定例会における一般・特別会計の補正予算は8億2420万円で、補正後の予算総額は503億5203万7千円となりました。

主な事業は次の通りです。

- 一般会計
- 〔補正額〕 8億1750万8千円
- 1 新型コロナ対策事業
- 〔補正額〕 2億5036万円
- 新型コロナウイルスワクチン

住民税均等割非課税世帯等の皆さまへ

内閣府 Cabinet Office

**電力・ガス・食料品等価格高騰  
緊急支援給付金 (5万円/1世帯) のご案内**

受給には手続きが必要です

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 (1世帯あたり5万円) は、住民税均等割非課税世帯や令和4年1月から12月までに家計急変のあった世帯を支援する新たな給付金です。
- 給付金を受給するためには、**手続きが必要です。**

価格高騰緊急支援給付金のお知らせ

- 接種事業 (補正額1億2817万5千円) オミクロン株対応ワクチンの接種に向けた体制の確保
- 割増商品券事業 (補正額1億550万4千円) 夏に引き続き、年末に10割増商品券を発行 など
- 2 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業 (補正額5億488万7千円) 住民税均等割の非課税世帯、家計急変世帯に5万円を給付
- 3 令和4年3月地震災害関連事業 (補正額 1489万5千円) ○被災者住宅再建支援事業 (補正額1350万円) 地震により居住する住宅が著しい被害を受け、かつ被災者生活再建支援法が適用されない世帯に支援金を支給 など
- 4 通常事業 (補正額 4736万6千円) ○公園街路維持管理費 (補正額600万円) 老朽化などで使用禁止となっている公園遊具を修繕 など
- 特別会計 (補正額669万2千円) ○後期高齢者医療事業 (補正額669万2千円) 後期高齢者医療広域連合への納付金 など

**常任委員長  
報告**

9月定例会において、議案9件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会  
委員長 鎌田 礼二

○議案第51号、第56号、第57号、第59号は原案のとおり可決、第52号は継続審査とすべきものと決しました。

〔特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 意見〕

○市長の給与削減の理由として挙げられている「塩竈市特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除の誤り」については、本条例改正案を審査する総務教育常任委員に、これまで十分な説明が

なされていないことや、原因や再発防止策の検討がさらに必要と考えられるため、引き続き審査が必要である。

〔一般会計補正予算要望意見〕

○体育施設管理運営業務委託は、これまでの応募団体が継続して1者であったことを踏まえ、応募団体が増え競争原理が働くよう工夫されたい。



民生常任委員会  
委員長 小野 幸男

○議案第57号、第58号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔一般会計補正予算要望意見〕

○放課後児童支援員等の処遇改善及び保育士・幼稚園教諭等の処遇改善は、措置期間終了後も継続し、賃金の処遇改善を国や県に働きかけられたい。また、施設運営の事業者選定は、全体の費用金額にとらわれず職員の賃金に配慮した事業者を選定されたい。

○廃棄物適正処理推進費に係る債務負担行為の追加は、本事業において、担当職員へ労働者派遣法の研修を行うなど、

偽装請負となる行為が発生しないよう留意されたい。



産業建設常任委員会  
委員長 阿部 眞喜

○議案第53号、第55号、第57号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔塩竈市手数料条例の一部を改正する条例要望意見〕

○改正の内容は、ホームペー

ジの掲載だけでなく、広報紙なども活用し、広く市民へ周知されたい。

〔一般会計補正予算要望意見〕

○割増商品券事業は、塩釜商工会議所などと連携し、市民や事業者からの意見を反映させ、今後も事業を継続し実施されたい。また、事業実施後のアンケート調査結果は議会にも報告されたい。

○公園街路維持管理費は、未就学児が多く利用する公園の修繕を優先するなど選定に配慮されたい。また、市内公園全体のランドデザインを念頭に置き、あらゆる世代が利用できるような公園づくりに挑戦されたい。

## 令和3年度 一般・特別・企業会計決算を認定

令和3年度一般・特別・企業会計決算審査のために設置した「令和3年度決算特別委員会」は9月13日に開会され、初日に正副委員長の互選を行い、委員長に阿部眞喜委員、副委員長に小高洋委員を選出しました。同委員会は4日間にわたる審査の結果、いずれも認定すべきものと決しました。本会議4日目に決算特別委員会委員長報告を受け、採決の結果、各会計の決算が認定されました。監査委員報告及び決算特別委員会委員長報告は次のとおりです。

### 監査委員報告概要

#### 各会計とも適正と認める

一般会計、各特別会計及び各公営企業会計の歳入歳出決算の審査の結果、決算書などがいずれも法令に準拠して作成されており、諸帳簿・電算財務会計と照合し、計数も正確である。

また、各会計の予算執行も良好なものと認められた。

一般会計の実質収支額は黒字となったが、実質単年度収支額は財政調整基金（市の貯金）からの取崩しを行っており赤字である。新型コロナウイルスなど厳しい状況にあるが、住民福祉の向上や地元経済の活性化に向け

て努力を続けられたい。

下水道事業会計は、黒字で決算された。引き続き、安定した事業運営に努められ、住民福祉の向上に努力されたい。

病院事業会計は、入院・外来収益で増収となったことは一定程度評価できる。地域に必要とされる医療を

継続するため努力されたい。

水道事業会計は、大倉川流域での油漏れ事故などにより純利益、給水収益とも減となった。健全経営を維持し低廉な水の安定供給に努力されたい。

## 決算特別委員会 委員長報告

### ▼一般会計

◎経常収支比率は改善されたが自主財源の確保に努め、健全な財政運営を行われたい。

◎浦戸再生事業計画は、住民との対話や交流により要望を把握し、住民視点に立った島の魅力を再度検証の上、策定をされたい。

◎家庭児童相談事業は、関係機関と一層連携をし、いち早く子どもを救うための施策を実施されたい。

◎子ども医療費助成事業は、令和5年10月より所得制限撤廃の方向で準備中であるが、財源確保については、県に対し国へ要望するよう働きかけられたい。

◎高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種事業は、接種料助成対象者の拡大を検討されたい。

◎新聞報道された「磁性くず及び金属くずの不適切な取り扱い」は、調査委員会による調査が開始されたが、議会とも情報共有を図り、問題の解明に努められたい。

◎割増商品券事業は、他市町村の方が利用できる商品券な

どの発行も検討されたい。

◎防災体制整備事業は、自主防災組織のない地域の市民や高齢の在宅避難者への支援も検討されたい。

◎タブレットを用いた学習は、児童生徒に健康被害が及ばない対策や環境づくりを行い、適正に利用されたい。

### ▼特別会計

◎各特別会計などの繰入金金は、削減に努め、捻出された財源で人口増加に繋がる施策を展開されたい。

◎国民健康保険事業特別会計は、生活困窮者の受診抑制にならないようきめ細やかな対応を行われたい。

◎交通事業特別会計は、交通事業会計経営健全化計画と浦戸振興策の整合性を図られたい。

◎透析患者の通院利用における市営汽船の割引手続きの負担軽減策を検討されたい。

◎介護保険事業特別会計は、今後も安心して在宅介護ができる塩竈市を目指されたい。

◎特別養護老人ホームの入所希望者数が、依然多い状況であるため対策を講じられたい。

### ▼企業会計

◎下水道事業会計は、下水道料金が他市町村と比較しても高水準であり、引下げに向け

努力されたい。

◎市立病院事業会計は、コロナ禍の厳しい状況下の中、経営改革に努められた。

原則、短期間の入院しか受け入れられない急性期病棟を抱える医療機関が多い仙台医療圏で、地域包括ケア病棟を開設し、一定の治療が終了しなからも退院が難しい患者を受入れ、在宅医療に繋げていることは、血の通った医療を行っている」と評価する。

◎水道事業会計は、配水量に対する料金徴収の対象となった水量の割合（有収率）が、他市と比較して低い水準にある。今後も管路を計画的に更新し漏水を減少させ、有収率の向上に努められたい。



令和3年度決算特別委員会委員長報告

## 討論

9月29日の本会議において討論を行いました。

その概要は次のとおりです。

### 認定第1号

**反対討論** 新型コロナウイルスの感染拡大、物価高騰が市民と事業者に大きな影響を及ぼす中、3つのパッケージに基づく各種施策を引き続き展開したことは一定評価する。

また、子ども医療費助成の所得制限について、来年10月からの廃止が表明され、実施に

向けた努力を望むものであるが、認定第1号については反対である。

宮城県地方税滞納整理機構への徴収事務の委託であるが、近隣2市3町では本市のみ参加しているなど、参加自治体が減少していることから、本市も不参加とし、滞納者の実態に寄り添った徴収を行うべきと指摘する。

マイナンバー制度は、様々な個人情報一元化し大企業によるデータの利用や、国が国民の個人情報を一元管理する社会とするものである。個人情報厳格に保護されるべきであるため、制度の推進に

ついて引き続き反対する。

行財政改革の分野については、無駄を省き市政を検証し、発展させていくことは当然必要である。しかしながら、第4次行財政改革推進計画については、減らすことを前提とした配置計画のもと、職員数を削減し、会計年度任用職員へ置き換えられ、業務が多忙化する中で、若い人材の退職や病気による休業も増加しているため重大である。また、アウトソーシングの推進は、採算性が求められる民営化には適さない分野もあるため、人件費・事業費の抑制のための推進は、災害対応力の

低下や憲法などで定められた権利の侵害、行政サービスの低下につながることを指摘する。国の方針に沿って職員削減やアウトソーシングを一律的に進めることには賛同できない。

国民健康保険事業は、基金を投入し税率を維持することは評価するが、短期保険証や資格証明書の発行は、一時的に無保険状態となり、医療抑制につながりかねないことから、発行自体を中止し寄り添った対応への転換を強く求める。

介護保険事業は、保険料や利用料の負担増加や給付対象

の縮小など、国の制度設計の欠陥があらわとなっており、介護の必要な人が、お金の心配なく適切な支援が受けられる公的な制度へ改められるべきである。

後期高齢者医療保険事業は、無保険状態となる懸念から、短期保険証の発行はやめるべきである。また、10月から一定の所得がある方についての窓口負担が1割から2割負担となるが、高額所得ではないため、受診抑制となれば、高齢者の命の危険につながりかねない。

以上のことから反対とする。

**賛成討論** 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がさらに広がり、前年度に続き本市で多くのイベントが中止を余儀なくされるなど、地元事業者の経済活動や市民生活が大きく影響を受けた状況の中、塩竈市は新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種、高齢者支援、子育て世代支援、学生支援、地元事業支援など45の事業を迅速に実施した。また、庁舎整備などの重点課題を先送りせず、積極的に取り組んだほか、第5次

長期総合計画と震災復興計画の最終年度として、定住促進策、子育て、福祉、防災、住環境、産業振興、教育施策など、第6次長期総合計画へつながる数多くの取り組みをされた姿勢は評価するが、多少不満もある。

令和3年度一般会計の全体的な財政運営は、実質収支及び単年度収支で黒字決算となったが、特別会計・企業会計への繰出金が依然多額であり、基準内なら当然という考え方は改めていただきたい。経常

収支比率については、前年度から3.9ポイント改善するなど、これまでにない工夫が見られるが、更なる努力を期待するものである。

認定第1号に反対する市議団の反対理由は、主に、マイナンバーカードのプライバシーに関する情報漏洩やセキュリティについての懸念を示しているが、マイナンバー制

度は将来的な行政のデジタル化の基盤となるもので、行政手続の効率化と市民の利便性向上に貢献するものであり、

国全体で進める事業であることから、迅速かつ積極的に進めるべきものである。

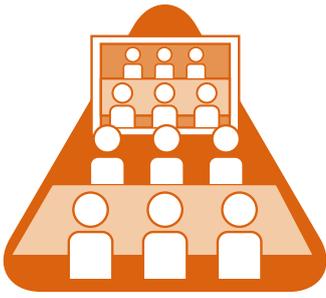
行財政改革絡みの「条例定数」については、将来にわたる財源不足が懸念されることから、DXの導入などによる事務処理の効率化に努め、適正な配置にためまぬ努力が必要であると考ええる。

宮城県地方税滞納整理機構への加入は、現在、職員派遣は行っていないが、収納率の維持に貢献していると捉えており、収納率の低下は国民健

康保険税などの増額につながるものであることから、宮城県地方税滞納整理機構からの脱退はすべきではない。

国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業については、厳しい財政運営の中、新型コロナウイルス感染症の影響で減収となった被保険者に対し、国民健康保険税及び介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免を行うなど、しっかりと対応や運営を行っていること評価する。

以上のことから賛成とする。



# 市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、9月26日、27日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から一部を取り上げてその要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



公明党  
菅原善幸

## 地域再生と本市のシビックプライドの醸成は

議員 「市民が塩竈に誇りを持ち、自ら進んで、まちづくりに参加いただくとともに、シビックプライドの醸成と人の育成が重要である」と今年の市政方針で示された。

そこで、よく言われてきた郷土愛といったシビックプライドには自らが生まれ育った地域という考え方ではなく、このまちが好きで、このまちに関わりたいたいといった機運を高め醸成していくといった表現であるが、地域再生、本市のシビックプライドの醸成の取り組みについて伺う。

市長 本市のシビックプライドの醸成については、第二小学校での壁画アートや第三小学校児童との植樹など各種事業を開始したところであり、風光明媚な第二小学校からの景色を復活させる取り組みでは、校歌の歌詞に込められた

意味を読み取れたとの感想が生徒から聞かれた。こうした新たな発見も一つのきっかけとして、本市の魅力をさらに掘り起こして、市民と行政が一緒になって磨いていくことで、自然にシビックプライドが醸成されていくものと考えている。今後このような事業に注力していきたい。

## 地域特性を生かした小水力発電は

議員 本市はゼロカーボンシティの宣言を本年表明された。東日本大震災の原発事故を契機に、新しいエネルギーとして再生可能エネルギーへの期



梅の宮浄水場

待が一段と高まっている。本市のエネルギー政策として小水力発電にも積極的に推進され、採算と安全面の課題について早速調査し、新しいエネルギー資源として考えていただきたい。そこで小水力発電についての所見を問う。

上下水道部長 小水力発電については、高低差及び適切な水量・安定的な流量が必要であり、本市では国見浄水場あるいは南部浄水場からの送水・導水が一定流量あるので、この2つの着水箇所が適しているのではないかと平成28年度の調査で判明している。

設置については、発電施設が耐用年数20年以上となるため、現在の本市の浄水場を活用するとすると、老朽化している施設への設置となる。仙台市との共同浄水場の整備が近々動き始める現状であり、仙台市と協議しているのは新しい共同浄水場の中で小水力発電の導入を検討している。取りまとめまでに時間をいただきたい。

その他質問項目  
・プラスチックごみの削減は  
・ゼロカーボンシティ塩竈の  
取り組みは  
など



公明党  
浅野敏江

## 带状疱疹予防ワクチンは

議員 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、带状疱疹を発生する高齢者が激増している。「带状疱疹」は、水疱瘡と同じウイルスで起きる皮膚病で赤い発疹と痛みを生じる。症状が顔面特に目の周りに現れ神経を損傷させると顔面麻痺を起こす事がある。日本人の90%が発症する可能性がある。50歳以上の方は「ワクチン」の接種で予防できるが、高額の為躊躇する人もいる。内閣府は「臨時交付金を活用し自治体の判断でワクチン接種費用負担の軽減は可能」と示しているが、本市の考えは。

福祉子ども未来部長 带状疱疹ワクチンの助成について、本市では国による定期接種化を望んでいるが、期待される効果や効果の期間、導入に最適な年齢について充分な検証が必要である。現状の任意接種でも接種による方が一の事



空家の活用 塩竈市空家バンクの流れ

## 空き家対策は

**議員** 平成27年に全面施工された「空き家対策特別措置法」に基づき、空き家の適正管理を進めるための計画を策定した自治体は今年3月末時点で、

故に対して国の保障制度があることから、まずは国の定期接種化の動向を見守りたい。また、任意接種に助成している自治体もいくつか散見しており、そういった自治体の取組状況も勘案しながら、助成について引き続き検討したい。

## 市政に対する一般質問

1397市区町村に上った。

これは全自治体の約8割にのぼる。さらに、計画の推進に不動産の専門家などで構成される法定協議会も5割を超えた。こうした取組により、14万2528件の管理不全の空き家の除去修繕が行われた。

本市には依然1600件もの空き家が放置されている。安全対策の上でも、景観保全のためにも一日も早く「空き家等対策計画書」の策定を。

**市民総務部長** 空き家等対策計画書についての本市の取組状況であるが、空き家対策などでは国の財政支援を受けるためには計画に基づく事業であることが必須条件であるため、今後、計画書策定の取組を進めてまいりたい。現在、自治体の策定内容などについて情報収集と策定に向けた片内のスケジュール調整など行っているところであり、当面の目標としては、今年度中に関係条例を策定し、来年度中には計画を取りまとめ、進めていきたい。



かしん  
**志賀勝利**

## 海岸通再開発の現況は

**議員** 今年配布した私の市政レポートに対して、再開発組合、(株)まちづくり鹽竈の代表者から記載内容に事実と相違があるとの指摘を受け、事実確認を市当局にしたい。

①マンションは専門業者に全戸一括販売したのでは。

②保留床を第三者に売却できたのは1区画のみではなかったか。

③本事業では組合が保留床を売却、売却できなかった保留床はまちづくり鹽竈が買い取る計画では。

④マンションの建設費から事業協力者の買取り額の差額4億円を赤字と表現するのは間違いであると指摘を受けた。そこでマンションの土地代込み平米当たりの原価を算出してみた。土地代は公示価格をもとに計算。結果保留床の土地代込み1平米当たり原価は

その他質問項目  
・「個別避難計画」の策定は  
・「教育機会確保法」の理念と  
周知は  
など



海岸通再開発事業地周辺

約38万円、これに事業協力者が取得した平米数をかけると建築原価は15億1100万円、売却額は10億7200万円、差額は4億3900万円となる。赤字ではないのか。

⑤まちづくり会社役員連帯保証の記事に誤りだと指摘を受けた。令和2年3月に市は文書で組合に保留床譲渡契約履行(契約金支払い)を促すため、まちづくり会社役員又は組合役員自らが買い取ることを求めているが資金調達の可能性は。

**まちづくり・建築課長**  
①ご指摘の事業者はマンション分譲のほか他自治体における再開発事例への参画事例も

ある。全63戸中、58戸が事業者による分譲販売、5戸を権利者が取得している。この5戸については、権利床の増床ということでお金をお支払いいただくが、金額については所管の協議会でご説明している。ただし、具体的な部屋番号については既に居住していることから議会にはお話ししていない。

②再開発組合とまちづくり鹽竈は法人として別組織となるので、売却という表現になると捉えている。

区画数として捉えると、第三者への売却数は、昨年度末時点で2件の譲渡契約が成立している。

③現状を捉えると、結果議員おっしゃるとおりかというふうと考えている。

④今回の議員の試算により生じた額は差額という形になるうかと思われる。

⑤自己資金分の調達については金融機関からということになるが、市中金融機関と協議が進められているという報告を受けている。

自己資金調達の状況については、報告をいただいた範囲の中で理解をしているところである。



日本共産党  
塩釜市議員  
伊勢由典

## 女川原発2号機の再稼働は

議員 「女川原発2号機、令和5年2月再稼働」と東北電力が発表した。再稼働の条件として原子炉格納容器耐震化など6つの安全対策を構築したとしている。女川原発2号機は築27年、専門家の意見では設計寿命30年と言われている。反対世論は県内6割で、原発を動かさないことが県民の安全になる。「事故が起き風向きによっては塩竈市に放射性物質が来る」と不安の声もある。避難先の確保は市長の責任。原発再稼働の市長の見解と塩竈市地域防災計画、津波避難計画による市民の避難確保、被爆対策の放射性ヨウ素剤確保について伺う。

市長 令和2年12月定例会の一般質問で答えたとおりだが、市民の皆様が不安に感じている安全対策に万全を期し、理解を得るため努力し続けるこ

とを前提に、やむなし同意と表明したことは、今も変わりはない。

総務部長 国、県及び関係機関と連携し市民生活に混乱が生じないように、迅速的確な情報提供を実施し、状況により屋内避難などを行う。

危機管理課長 県と連携し配布すると計画が決まっている。

## 門前町再生は

議員 今年2月の施政方針で門前町再生がうたわれ「市内商店会組織代表者による組織の立ち上げと将来像の推進体制プランニングを進める」と



本町くるくる広場

した。本市は本町くるくる広場1億4700万円、宮町分庁舎跡地2億2973万円取得し、現在2つの土地は本市の公用車駐車場に使われている。この土地を門前町再生にどう活かすのが本市中心地の街づくりの課題と考え、門前町再生プランニングの取組、本町宮町市有地活用 of 市民的議論の進め方を伺う。

産業建設部長 地域が求める門前町の姿を分析するため、ワークシヨップを10月4日開催予定である。地元商店主の方々と観光関連業者、大学生など若い世代に参加いただき、将来に向けた意見交換の場として準備を進めている。今後、意見を一定の手法で科学的に分析、情報の整理をし、ソフト事業・ハード事業を施策に反映できるよう検討していく。

商工観光課長 市有地活用は、市民の皆様の意見を伺いながら、今後の方向性を検討していく。また、ワークシヨップのテーマなどでも議論したいと考えている。

その他質問項目  
・大雨豪雨に対する考え方は  
・東日本大震災から11年目となる災害公営住宅は など



日本共産党  
塩釜市議員  
曽我三三

## 放射能汚染処理水は

議員 海洋放出について、漁業関係者への説明がされていないとの指摘があるがどうか。令和元年度の県内の汚染・風評被害対策は、請求額に対して2.6%と僅かだが、水産加工業などの生産額、売上額は震災以前まで回復したのか。原発処理水海洋放出処理については、地元住民や国民の声を無視して準備を進めている。漁業を守るため中止を求めるときであるが、市長の考え方を伺う。

市長 まずは国が国民に対し、処理水の取扱いについての説明や、全世界でどのような形で処理水を処理してきたのかなど、もっとしっかり丁寧に説明すべきである。ただ、現実的、物理的にこれ以上保管するのが難しい現状になってきている。万が一ではあるが、海洋放出をする場合は、補償

や責任など明確にするべきであると考えます。

産業建設部長 本市での説明は、7月26日に市内全ての水産関係者で構成された塩釜市水産振興協議会会員を対象に開催されている。

水産振興課長 生産額、売上額は、ほぼ震災前の数字に戻ってきたと捉えている。

## 県道八幡築港線の交通安全対策は

議員 県道八幡築港線の整備に伴う安全対策を、周辺住民に講じると説明してきたが、整備完了後も信号機など安全対策が、いまだ講じられてい



県道八幡築港線



創生会  
土見 大介

### 定住促進策は

ない。再三、県土木事務所や塩釜警察署、宮城県警にも申入れをしてきた。これに対し、県警は「県内の信号機設置は年間8基、この区間は1基である。信号機や横断歩道は、渋滞や交通事故を引き起こす要因にもなる」と説明。住民の命より、自動車を優先する考え方と言わざるを得ない。安全対策を関係機関へ要請するよう強く求めるが見解は。

**市長** 市長懇談会において、周辺住民の方より危険度合いについて詳細にわたった意見をいただいた。これからも、県、市、警察、町内会と連携し努力していきたい。

**産業建設部長** 先日、本市と宮城県、地元町内会の3者で現地の整備状況を確認し、安全対策について共有をした。市長も塩釜警察署へ安全対策について要望を行ったところである。今後も、地域の皆様の安全確保や利便性の向上が図られるよう関係機関に対し安全対策の実現に向け引き続き要望を行っていく。

- その他質問項目
- ・新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策は
- ・浦戸振興策は など



### 議員

塩竈市の人口は自然減が大きく影響し年間400、500名ずつ減少しているが、塩竈市の定住促進策の現状について伺う。また、子育て世帯の定住促進を考えた際、子ども医療費助成制度の所得制限撤廃は必須と考える。先の決算特別委員会で撤廃の方針が表明された。一方、子育て支援策だけでも既に多くの施策があるにも関わらず、広報力が弱いため、市内の対象者や市外の定住を検討されている方々に周知が行き届いていない現状があるが、今後の定住促進策の広報はどのように行う予定か伺う。

**市長** 妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援体制を図るため子育て世代包括支援センター事業や小中学校に関する取組など、重点的に産み育てやすい環境を整える



塩竈市子育てガイドブック  
施策の拡張とともに周知徹底が成功の鍵となる

事業と、子育て世帯の移住定住を促進する事業に取り組んでいる。

**総務部長** 子育て施策をワンストップで見られる取り組みを行ってまいりたい。子育て・三世帯同居近居住宅支援事業のチラシにホームページの二次元コードを掲載するなど情報に手が届くよう努める。

### 文化振興は

**議員** 塩竈は歴史の宝庫であるにも関わらず地域資源の学術的検証が不十分である。地域資源の学術的検証を行い適

切な保存と活用方法を検討することで歴史的な魅力を市民の生活や産業に活かすことができるかと考えるが、塩竈市の考えや施策の方向性を伺う。また、市民・行政・民間事業者や団体が地域に誇りを持ち一丸となって活用に取り組むためには、文化振興条例などを定め、振興計画を進めていく必要があると考えるが、塩竈市の考えを伺う。



オール塩竈の会  
志子 田吉晃

### 国民健康保険事業は

国民健康保険事業の県内他市との比較では、一人当たりの医療費が一番多いが、保険料額は4番目に少ないなど、事業運営は順調になされている。今後も国保税抑制のため、次の3点について伺う。

**教育部長** 本市では指定、未指定に関わらず、市内に存在する文化財を幅広く把握し、周辺環境を含め総合的に保存活用するための「文化財保存活用地域計画」を策定し、まちづくりや地域振興、観光促進などに活かしていく予定である。計画策定まで3年程度要する見通しである。計画策定過程の中で考古学、民俗学、建築学といった、さまざまな専門家の皆様に調査研究をお願いしていく予定である。

今後、専門家の皆様のご意見を頂戴しながら市全体の文化財の保存の在り方を検討してまいりたい。

**市民生活部長** ①令和3年度決算は、歳入は被保険者の減により、歳出は、保険給付費が新型コロナウイルスの影響による受診控えが解消され前年度に比べ増加している。今年度は、団塊世代の後期高齢者医療への移行などもあり、被保険者数は大きく減少する見込みで、国保税収入はそれに伴い減少すると見込んでいます。歳出の保険給付費は、1

- その他質問項目
- ・まちづくり人財の育成は

人当たりの医療費が増加傾向にあるが、被保険者数の減少の影響がそれ以上に大きく、令和3年度決算額よりも減少すると見込んでいる②基金取崩額は、8186万7千円と令和2年度より2771万1千円増加している③ジェネリック医薬品を勧めるなど医療費抑制を図る。

## ワクチン接種の基本的な考え方は



ワクチン接種の様子

**議員** 新型コロナウイルス感染症の陽性者累計は、国民の16.46%、第7波での感染者死亡率は0.08%、死亡者数の年代別割合は、70歳以上が9割を占めている。厚労省の

発表データからワクチンの感染予防効果に疑問が生じている。

また、接種後の副反応で死亡申請した方が1835人いるが、3人しか認定されていない。

10代以下への接種は、将来の副反応を考慮しデメリット情報を発信すべきと思うが、市の方針を伺う。

**福祉子ども未来部長** ホームページなどで、例えば、このワクチンを打った場合の副反応率やこういう症状が現われるリスクがあるということを周知している。

接種の際も、リスクを承知した上で同意した方に接種する形になっている。このような取組みを今後も続けていく**健康づくり課長** デメリットというところでは、副反応で注射部位が痛くなるなど、その他、様々な症状があることは承知している。

国においても、そういう情報を出しているので、引き続き情報発信してまいりたい。

- その他質問項目
- ・ 財政改革の取り組みは
  - ・ 市道の整備は
  - ・ 病院事業は
- など



オール塩竈の会  
鎌田 礼二

## 私道整備は

**議員** 過日、玉川3丁目にお住まいの方から私道について相談があり、土木課と水道部の職員に現状を見ていただきたいが、結論から言う問題が多く、なかなか進みそうにない。

塩竈市内には、こういった私道が多数あり、塩竈市民人口の増加の障害になっているものと考える。

この現状を塩竈市職員、同僚議員、そして塩竈市民に知っていただきたいという思いで、一般質問に取り上げさせていたいただいた。

この道路は、水道管や下水道が埋設されており、市道及び市の管理道路と接続していることから、地域住民の通り道にもなっている。また、税法上公道扱いとなるため、非課税である。この現状をみれば

は当然、市の管理道路にすべきと考えるが、何故できないのか。また、所有者移転の促進の観点から道路所有者への課税はできないか。

現実にはこの道路を市の管理道路にするには、多額の経費が必要で、この道路沿いの住民での負担額は、かなり高額となる。

解決策として、私道整備事業の促進について、次の2項目に対する見解は。

- ①市道認定基準の緩和
  - ②私道整備の補助率向上
- 土木課長** ①市として道路の帰属を引き受けるにあたり、基準としては本市の市道認定



整備された私道

規定を設けさせていただいている。道路のネットワークや道路幅員など一定条件を満たしている場合に帰属を受けることとしている。

**産業建設部長** ②私道整備の補助率向上について、本市では令和2年度から制度の改正に伴い、補助率を3分の2から4分の3に拡充したが、利用件数の低迷が続いている。このことから、現状いただいている相談の内容などを分析して検討を行い、市民に利用いただける支援制度となるよう先進自治体を参考にし、検討させていただきたい。

また、これまでの相談内容については、私道を所有する地権者に関する相談などが多い現状となっており、補助率の問題だけが補助金申請が伸び悩んでいる原因ではないと捉えている。そういったものを総合的に勘案して、今後の制度の在り方についてさらに研究させていただきたい。

- その他質問項目
- ・ 市民人口は
  - ・ 自主財源確保は
  - ・ 学校給食は

# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 欠：欠席  
×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

| 会議名<br>議案番号・件名 | 会派名・議員氏名                                      | 公明党  |      |      | 日本共産党<br>塩釜市議団 |      |     | 創生会   |      | オール塩竈の会 |      |       |      |      | かいしん | 風の会 | 無所属の会 | 審議結果 |       |          |
|----------------|---|------|------|------|----------------|------|-----|-------|------|---------|------|-------|------|------|------|-----|-------|------|-------|----------|
|                |   | 浅野敏江 | 小野幸男 | 菅原善幸 | 曾我ミヨ           | 伊勢由典 | 小高洋 | 辻畑めぐみ | 伊藤博章 | 土見大介    | 香取嗣雄 | 阿部かほる | 阿部眞喜 | 鎌田礼二 |      |     |       |      | 志子田吉晃 | 今野恭一     |
| 認定第1号          | 令和3年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について                  | ○    | ○    | ○    | ×              | ×    | ×   | ×     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 認定       |
| 認定第2号          | 令和3年度塩竈市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について               | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決及び認定 |
| 認定第3号          | 令和3年度塩竈市立病院事業会計決算の認定について                      | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 認定       |
| 認定第4号          | 令和3年度塩竈市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について                | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決及び認定 |
| 議案第51号         | 塩竈市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例                   | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第52号         | 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例                     | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 継続審査※    |
| 議案第53号         | 塩竈市手数料条例の一部を改正する条例                            | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第54号         | 塩竈市営住宅条例及び塩竈市地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例             | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第55号         | 塩竈市建築基準条例の一部を改正する条例                           | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第56号         | 塩竈市議会議員及び塩竈市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第57号         | 令和4年度塩竈市一般会計補正予算                              | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第58号         | 令和4年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算                     | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第59号         | 工事請負契約の締結について                                 | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
| 議案第60号         | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について                         | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | 欠     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 同意       |
| 議案第61号         | 令和4年度塩竈市一般会計補正予算                              | ○    | ○    | ○    | ○              | ○    | ○   | ○     | ○    | ○       | ○    | /     | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○     | 原案可決     |
|                | 磁性屑及び金属屑処理問題調査特別委員会の設置に関する動議                  | ×    | ×    | ×    | ○              | ○    | ○   | ○     | ×    | ×       | ×    | /     | ×    | ×    | ×    | ×   | ○     | ×    | ×     | 否決       |

\* 議案第52号は、継続審査とすることについての、賛否を掲載しています。

**人事**

次の人事案件に同意しました。

○固定資産評価審査委員会の委員の選任

佐久間 志保子 氏  
大友 洋 氏  
土井儀憲 氏

## 年賀状などの挨拶禁止について

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことが禁止されております。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

塩竈市議会議員一同

議会報編集委員会

委員長 志子田 吉晃 氏  
副委員長 小高 眞洋 氏  
委員 阿部 眞喜 氏  
委員 小畑 幸男 氏  
委員 辻畑 めぐみ 氏  
委員 土見 大介 氏

「3年ぶりに開催」というフレーズを、ニュースなどによく見聞きするようになってきた。これまで、新型コロナウイルス感染症防止の観点から自粛され続けていた多くの催事が復活し始め、市にも少し活気が戻ってきたと感じます。

一方であらゆる物の値段が上がり続けており、特に冬を迎えるにあたって、暖房に必要な電力、ガス、灯油代金の価格がどのくらい上がるのか大変心配される場所です。

市議会では、今後も「良かった」「困った」「なぜ」といった市民の声を伝え、より良い塩竈市であるよう努力してまいります。

編集後記

次回の定例会は

**12月9日(金)**

午後1時開会予定です